

じゅうど したいふじゆう じゅうど ちてきしょう ちょうふく しょう じぶん にちじょうせい
 重度の肢体不自由と重度の知的障がいとが重複している障がいです。自分で日常生活
 かつ おく こんなん じたく かいご う せんもんしせつとう にゆうしょ せい
 を送ることは困難であり、自宅で介護を受けたり、専門施設等に入所したりして生
 かつ くち うご め うった いし つた ひと ひと こきゅう
 活しています。口の動きや目の訴えで意思を伝えられる人もいます。また、呼吸するこ
 えいよう せつしゆ こんなん じょうじ いりょうてき ひつよう ひと
 とや栄養を摂取することが困難で、常時、医療的ケアを必要とする人もいます。

じ

車

れい がいしゆつさき
例17 外出先で

わたし こ じゅうど したいふじゆう じゅうど ちてきしょう つね かいご ひつよう
 私の子どもには重度の肢体不自由と重度の知的障がいがあり、常に介護が必要で
 いどう い おお くるま しょう
 す。移動にはバギーと言われるリクライニングのできる大きな車いすを使用していま
 がいしゆつじ も はこ かのう じんこうこきゅうき よび ひつよう にもつ
 す。外出時には、持ち運び可能な人工呼吸器や予備のオムツなども必要で荷物がかさ
 みます。

がいしゆつさき ちゅうしゃじょう ていどひろ ひつよう
 そのため、外出先の駐車場やエレベーターでは、ある程度広いスペースが必要です。
 か たす
 また、オムツを替えるためのベッドなどがあると助かります。

こ

はいりよ ねが
んな配慮をお願いします

じゅうど したいふじゆう じゅうど ちてきしょう ばあい じりき いどう むずか かいじょ
 重度の肢体不自由と重度の知的障がいとがある場合、自力で移動することは難しく、介助
 しゃ かか の じょうたい いどう ほんにん しんたい おお
 者に抱えてもらったり、バギーに乗った状態で移動することとなります。本人の身体が大き
 ばあい いりょうてき きき つね も ある ひつよう ばあい かいじょしゃ ふたん
 い場合や医療的ケアのための機器を常に持ち歩く必要がある場合には、介助者の負担はよ
 おお すこ きより すこ だんざ ほんにん かいじょしゃ おお ふ
 り大きくなります。少しの距離、少しの段差であっても、本人や介助者にとっては大きな負
 たん ほんにん かいじょしゃ の ばあい
 担です。エレベーターに本人と介助者が乗ってきた場合には、できるだけスペースを空ける
 きょうりよく とう ぼしよ かいじょしゃ こま ようす ばあい
 ように協力しましょう。また、スロープ等がない場所で介助者が困っている様子でいる場合
 なに てつだ こえ か
 は、「何かお手伝いできることはありませんか」と声を掛けるようにしましょう。

つか おお がいしゆつさき こうかん ぼしよ ひつよう
 また、オムツを使っていることが多いため、外出先では、オムツ交換ができる場所が必要
 たもくてき せいび じょじょ ふ じゅう
 です。多目的トイレにベッドが整備されているところも徐々に増えてはきましたが、まだ十
 ぶん い かいじょしゃ もう で おう どう よこ
 分とは言えません。介助者からの申し出に応じて、ベッド等の横になることができるスペー
 ていきょう
 スを提供しましょう。

